

# 青森県南部地方の地名の研究

福 井 平 之 丞

## A study on place names of the Nanbu district in the Aomori Prefecture.

Heinojyo HUKUI.

### Abstract

Nanbu district of Aomori Prefecture is surrounded by hills on west and south side, and the plain is slightly inclined to north east side. Surface of the plains are covered by volcanic ash and scoria, for that the plains are unsuitable for cultivated crops.

I would like to make clear geomorphologic characters of the place names, for instance, Mabetsu river, Same, Sozentai, and Konakano. We must measure counter plans for breakings of above mentioned places.

### 1. 青森県南部地方とその地名

青森県南部地方という八戸を中心とした八戸市、上北郡の地名を地形学的な目で眺めていると、これらの地名は地質、地形にひどく左右されていることに気づいた。

地名は元来地形から地上地質から名付けられているものが多い。東北のこの地方は元々開拓の歴史は浅く、ために政治法制に由来するものは少く、又信仰、口碑をもととしたものも多くはない。更にアイヌ語の地名が之に加わるのである。

この南部地方は前九年の役、後三年の役の後にも直接中央政府の支配下ではなく、鎌倉御家人に分割されていて、南部は糠部と称し、岩手県岩手郡に接する岩手県々北は爾薩体と言った。

そしてこの南部は当時エミン即ち、毛人、蝦夷と言われる人々が多く住んでいた。これは所謂アイヌではなく、アイヌにサンカ等が混在していたと考えられる。

南部地方は西方、南方を山で限られ、東方を

太平洋と、北方は下北半島に続く低地に境される。そして平原は一般に北北東に僅かに傾斜する単調な地形となっている。地表は八甲田、十和田の火山灰、スコリヤが数10米表面を覆うのである。だから河流は何れも北北東に流れ、地表の火山灰類を侵蝕し、深い河谷を形成する。なかでも新井田川は上昇度が激しく、蛇行流下しながら嵌入侵蝕を続け、高い侵蝕崖を形成している。元来この地はオホーツク高気圧のもたらす寒気団の常襲地帯であって六月～八月は度々この低温に襲われて、米は不作となる。とくにこの単斜平野を南北に貫く陸羽街道より以東はその被害が極めて大きい。

最近では農業技術の進歩によって一般東北地方は重要な食糧供給地となったが、矢張この北岩手以北は冷害の惨禍は免れ得ない。

又この南部地方の東方太平洋沖には何度か大地震をもたらしした活断層群がある。地震の来襲によって、河岸の火山灰台地は度々崩壊を繰返すのである。又台地表面は地下に含まれる浮石層が地震動によって体積を減少し、地と物件の倒壊破損をまねく。

だからこの地方の地名は悪戸・明戸（共に深

昭和60年5月7日受理

\* 前土木工学科教授